

2021（令和3）年度事業報告

A. 調査研究活動

ア. 修学旅行に関する実施状況調査

●修学旅行の現況と各方面の意向・動向を的確に把握し、各種資料の提供に努める

- 1 三地区中学校の修学旅行実施状況調査
- 2 2020（令和2）年度「全国公私立高等学校海外修学旅行・海外研修実施状況調査報告」及び「公立高等学校・中学校修学旅行方面別実施状況」、2021（令和3）年度「全国都道府県政令指定都市修学旅行実施基準概要」調査

イ. 修学旅行に関する研究大会の開催

●全国大会をはじめ各研究大会を充実させこれからの修学旅行の在り方を探求した

- 1 「第38回全国修学旅行研究大会」を開催
 - (1) 開催期日・会場
2021（令和3）年7月20日（火）13:30～17:00
学士会館（神保町）210号室にて収録（同時配信）
 - (2) 大会主題
学びの集大成を図る修学旅行
 - (3) 発表内容
 - a 全修協報告 : 「コロナ禍における修学旅行」
(公財) 全国修学旅行研究協会 常務理事 守屋 勝利
 - b 事例発表 : 「大震災、コロナ、…そして修学旅行」
栃木県那珂川町立馬頭中学校 前校長 大金 浩 氏
 - c 講演 : 「これからの生き方」
大本山薬師寺 執事長 大谷徹英 師
 - (4) 「新型コロナウイルス感染症」拡大防止の見地から、大会関係者のみにより学士会館での開催を行いつつ、ONLINE 同時配信を実施した
 - (5) 参加者
教職員、行政・地方自治体、修学旅行誘致団体関係者、報道関係者及び旅行会社の教育旅行担当者など、全180名がONLINE 視聴で参加した
- 2 各修学旅行委員会の研究発表会・研究大会・研究セミナーを共催（一部中止）
児童・生徒の育ちと学びに資する修学旅行の役割をさらに探求すべく、各修学旅行委員会が主催する研究発表会・研究大会・研究セミナーを共催し、開催内容のより一層の充実を企図したが、「新型コロナウイルス感染症」拡大防止の見地から、中止若しくはONLINE 視聴による開催となった

- (1) 開催期日・会場
 - a 東海修委：2021（令和3）年10月15日（金） 愛知県名古屋市 中止
 - b 近修委：2021（令和3）年11月11日（木） 全面 ONLINE 視聴による開催
 - c 関修委：2021（令和3）年11月19日（金） 群馬県高崎市
※群馬県内の教職員及び一部の関修委委員は会場参加、他県の教職員は ONLINE 視聴により参加した
- (2) 開催目的
 - a 「学びの集大成を図る修学旅行」の役割を探求し、研究大会を更に充実させること
 - b 各地区ごとに開催方法を工夫し、研究発表及び事例発表等を軸として修学旅行の内容充実、向上を図ること

3 「海外教育旅行セミナー及び現地研修会」等の検討、開催及び実施

- (1) 生徒の相互交流活動を更に推進することなどを旨とし、親日的な台湾修学旅行の啓発活動等を中心に、セミナー及び現地研修会等の開催・実施を企図した
- (2) 「新型コロナウイルス感染症」拡大防止のため、海外への門戸が閉ざされたため、全面的に断念

4 修学旅行研究会の活動支援

学校の教育活動及び地域振興支援のため、修学旅行に関わる条件整備を更に進める方策を検討するため、「修学旅行研究会」の活動支援を継続した

- (1) 活動目的
 - a 北海道・九州・沖縄等の東京事務所、各観光誘致機関、航空会社、旅行事業者及び有識者等と共に、学校の教育活動及び地域振興に資するため、修学旅行に関わる条件整備を図ること
 - b 公立中学校の修学旅行での航空機利用促進のため、旅行費用の軽減に向けた研究を行うこと
 - c 「新型コロナウイルス感染症」が教育旅行に及ぼす影響に関する情報共有
- (2) 参加者
本研究会の主旨に賛同する者（旅行研究団体、マスコミ、行政・自治体の東京事務所、運輸機関、旅行会社及び教育関係者 等）
- (3) 開催時期
本年度については、5/14、8/27、11/4、2/10 の4回のほか、幹事会を4回の開催を計画したが、「新型コロナウイルス感染症」拡大防止の見地から11/4、2/10 の2回のみを開催、幹事会は臨時開催を含め5回の開催となった
- (4) 要望活動
本研究会での討議結果を踏まえ、航空2社（日本航空・全日空）に対して、学校研修割引運賃（SE）の改訂及び受入体制の改善等を申し入れた
- (5) 事例発表会
 - a 「新型コロナウイルス感染症」の影響、感染防止を前提とした各自治体の取り組み・施策等に関する情報共有及び意見交換等を行った

- b 「実践事例発表会」を日本航空本社ビル会議室で開催
 - ・開催期日：11月4日（木）
 - ・講演内容：「東京都公立中学校修学旅行事情とこれからの修学旅行を考える」
 - ・講師：豊島区立明豊中学校長 山本聖志氏
 - ・参加人数：全30名
- (6) その他
- a 航空機利用の安全性を調査・研究するために、中学校教職員を対象とした「修学旅行航空機利用セミナー」を開催した
 - b 開催期日：2021（令和3）年12月18日（土） 14:00～16:30
 - c 開催場所：「ANA Blue Base（全日空訓練施設）」
 - d 参加者：教職員11名、研究会会員21名 全32名が参加した

ウ. 修学旅行情報の収集・発信・保存

1 修学旅行先支援

諸団体との協働により、修学旅行受入れ体制の充実及び修学旅行先の開発を図り、新たな学びの開発に努めることを目的とした

- (1) 修学旅行誘致活動の一環であるセミナー、説明会及び研修会等に対する支援、協力を積極的に行う予定であったが、新規の計画は元より、例年開催されている各種説明会及びセミナー等の多くは、「新型コロナウイルス感染症」拡大防止の見地から中止となるか、オンラインによる開催へと変更された
- (2) 修学旅行の多様性拡大の為に教職員現地研修会の実施（関修委）
 - a 関修委・東北現地研修 12/3～12/5 教職員8名参加
 - b 関修委・北陸3県現地研修 1/15～1/17 教職員10参加予定（中止）

2 協会ホームページ「修学旅行ドットコム・修学旅行情報センター」の運営及び改修

広く情報を公開するため、協会ホームページの更なる充実を図った

- (1) 修学旅行情報センターとしての機能強化のため、協会ホームページの内容充実を図るとともに、全面改修を行った
- (2) 賛助会員との連携を密にすることに加え、掲載情報の更新頻度を高め、発信する情報の最適化に努めた
- (3) 「新型コロナウイルス感染症」に関する情報を別枠にまとめ掲載するなど、迅速且つ丁寧な掲載に努めた
- (4) 新着情報（トピックス）の発信32件、セミナー・説明会の案内1件（3/31現在）
- (5) 協会からのお知らせ発信4件（3/31現在）

B. 輸送集約活動

ア. 修学旅行の輸送に関する集約活動

- 各地区修学旅行委員会の運営支援を充実させ、より効果的な修学旅行の実施に寄与した

- 1 関東地区公立中学校修学旅行委員会（関修委）の活動
- 2 東海三県中学校修学旅行委員会（東海修委）の活動
- 3 近畿中学校長会修学旅行専門委員会（近修委）の活動
- 4 あおぞら号近畿地区運営協議会の活動

イ. 修学旅行訪問地の開発活動

●「三地区修学旅行連絡会」等の活動を通して、修学旅行先の開発や情報提供の場の創出し・提供を図った

- 1 2021（令和3）年度三地区代表者連絡会議開催を予定した（中止）
- 2 2022（令和4）年度修学旅行費国庫補助金の増額陳情を実施

C. 管理業務（財団運営）

ア. 公益財団法人としての社会的使命を果たし、より効率的な組織運営の確立を目指した

- 1 効率的な予算の執行を図り公益事業比率50%超を維持した
- 2 事業費及び管理費の見直しとコスト意識をより徹底した

イ. 協会支援の賛助会員・受託事業等の拡大を図った

- 1 公的団体を中心に賛助会員の拡大に努めたが、目標に至らず、会員数は前年度から微増となった（新規会員目標10件に対し3件加入、退会3件）
- 2 受託事業は特に無し

ウ. 情報発信・提言の発信

- 1 全修協活動への理解拡大をより進めるため、各種情報・提言・提案等をホームページ掲載、冊子掲載及び委員会活動での資料配布等を通して、更に広い分野・方面に対して発信した

エ. 緊縮財政に鑑み、大胆に事業の精選及び経費の削減を行った

以 上